

写真を用いた絵画表現について

-写真の視覚像と上田薫の絵画表現を通して-

木須 悠太

広島市立大学大学院芸術学研究科
博士後期課程総合造形芸術専攻

要 旨

今日の写実的な描写を必要とする絵画作品の制作において、写真は有効な資料であるが、絵画制作の方法、あるいは絵画表現の手段として写真を用いることを批判的に取られることは少なくない。しかし、今日の写実的な絵画表現の成り立ちについて、写真の発明を切り離して説明することはほぼ不可能である。絵画制作、絵画表現にカメラの前身とも呼べる光学機器の使用の痕跡が現れることや、写真が発明されるまでの経緯を考慮すると、過去の人々の光学によって視覚像を得ることについての関心は非常に大きかったと考えられる。

写真の発明からおよそ1世紀半が経過した現代において、写真は街中に溢れ、我々の生活から切り離せないものとなった。それゆえに写真の視覚像に慣れ親しんだ我々は写実的な要素を含む絵画表現においても「写真みたい」という印象を持つことがある。これは日本で油絵が普及した19世紀ごろには技巧的な高さを賞賛する言葉であったが、今日においては絵画のイリュージョニズムに対する新鮮な驚きと感動を示す反面、人間の視覚による捉え方とは異なる点を見出すことによって得られる印象を示す所感でもある。この「写真みたい」な印象とはどのように形成されるものなのだろうか。

本論文では写真を用いた絵画表現に見られる「写真みたい」な印象の成り立ち方とそれを踏まえた上での写真を用いた絵画制作の意義について論じている。

その方法として、はじめに過去の人々の光学機器と視覚像への関心、絵画制作への導入の変遷を追った。第1章ではカメラ発明以前の光学機器とレンズの発展の様相を踏まえ、過去の画家が光学機器を用いた事実について明らかにした。また、後半ではフォト・リアリズムについて触れ、それまでの画家が光学機器を絵画制作の補助的役割として方法に取り入れたことに対し、フォト・リアリズムの画家は絵画表現として写真の視覚像を取り入れることで非感情的、非情緒的な絵画表現を目指したことから、絵画表現に写真を技法的に用いることから表現的に用いる変化について論じた。

また、写真の発明によって我々は眼そのもので視覚像を捉える視覚体験、レンズや光学機器によって映す対象と同時性を持つ視覚像を見る視覚体験、写真によって写す対象と写さ

れた対象の同時性をなくした視覚像を見る視覚体験の3つを有することを明らかにした。

第2章では第1章で触れた光学効果について、カメラの構造を踏まえながら視覚像取得の過程でどのように光学効果が出現するのか、そしてそれらがどのように絵画表現に影響するのかを考察した。そして人間の眼とカメラの視覚像の取得のメカニズムについて比較を行い、光学効果がカメラや写真に特有のものではないことを明らかにした。しかし、写真はある一定の時間の中での対象のあり方を写すという特性があり、人間の眼では連続的に結像が行われるためそのような見方ができないことから、写真はある一定時間に起きた光学効果を確認する手段となりうる。そして写真の視覚像とは決定的瞬間の視覚像であった。写真の視覚像は光学効果と決定的瞬間の現れたものであり、それゆえに人間の眼で捉える視覚像とは異なる仮象的な像である。これを絵画として再生することが「写真みたい」な絵画表現の印象の成り立ちであった。

最後に第3章では、写真を用いた絵画表現で知られる上田薫の方法論に着目し、写真を用いた絵画表現の可能性について考察した。上田薫の場合は時間を切り取るような目的や描画の対象に反射体が多く、波などの連続的に形の変化する対象の一瞬を描くという目的から、写真の仮象性を用いること有効に活用している。また、上田薫は写真の視覚像をあえて絵画として再生することによって、絵画表現としての技巧性と視覚像への関心を引き出すことに成功している。

本論文を通して、写実的な絵画表現に対する「写真みたい」な印象とは、写真に現れる決定的瞬間と光学効果による仮象的な像を絵画に引き継ぐことによって成り立つことを明らかにした。また、鑑賞者は今日我々がすでに獲得している3つの視覚的体験によって、この写真による仮象的な像が人間の眼で捉えた視覚像と異なることを判断している。写真にすでに現れた視覚像を絵画として再生することは無意味な行為にも捉えられる。しかし、写真の仮象性は単に絵画表現に引き継がれるだけではない。写真とは技法と媒体が異なる絵画として再生されることによって写真の視覚像はより鑑賞者の関心と注目を得るものに変容する。「写真みたい」な印象は描写による仮象的な像の再生と鑑賞者の視覚体験の両面から形成されている。写真を用いて絵画表現を行うことは、鑑賞者の心象に結びつき、新鮮な驚きを与える絵画表現としての視覚像を作り出す可能性を秘めている。